

ヨハネ13章は十字架の前夜の場面である。共観福音書では最後の晩餐に重点が置かれているのに対し、ヨハネの福音書では洗足式に焦点が当てられている。告別式の性格を持つこの場でキリストが弟子たちに語られたことは、教会の内へ向けたメッセージ、聖徒の務めであった。

1. 最後の晩餐と洗足式 <small>せんぞくしき</small>	2. 新しい戒め	3. 福音に集中	4部「Rtのサミット集中」 使1:1, 3, 8
<p>ヨハネ13:8-10 ペテロはイエスに言った。「決して私の足をお洗いにしないでください。」イエスは答えられた。「もしわたしが洗わなければ、あなたはわたしと何の関係もありません。」シモン・ペテロは言った。「主よ。わたしの足だけでなく、手も頭も洗ってください。」イエスは彼に言われた。「水浴した者は、足以外は洗う必要がありません。全身きよいのです。あなたがたはきよいのですが、みながそうではありません。」</p> <p>1)洗足式の霊的な意味:罪の赦し (1)足は体の中でも最も汚れる部分である。洗足とは即ち罪の穢れの洗い聖め、罪の赦しを意味する。 (2)他の部位の洗浄も求めるペテロに対するキリストの返答:弟子たちは実際に水浴したわけではない。水浴は喩えであり、キリストの贖いにより、毎年贖罪の儀式の時代は終わり永遠の罪の赦しが与えられることを表す。 ヘブル9:12-14 また、やぎと子牛との血によってではなく、ご自分の血によって、ただ一度、まことの聖所にはいり、永遠の贖いを成し遂げられたのです。…</p> <p>2)洗足式の肉的な意味:謙遜、仕える (1)神の御子であるキリストはヘリ下り人としてこの世にいられた。これはキリストの犠牲である。それだけでなくこの場では師である身ながら弟子の足を洗われた。キリストによる罪の赦しを受けた者は、そのキリストの姿に倣い互いにヘリ下り、謙遜の姿勢を持つべきである。 ヨハネ13:14-15 それで、主であり師であるこのわたしが、あなたがたの足を洗ったのですから、あなたがたもまた互いに足を洗い合うべきです。わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、わたしはあなたがたに模範を示したのです。 (2)互いに足を洗う=互いに赦し合う:謙遜の姿勢を持つ者は、互いに赦し合う姿勢を持つこともできる。一切の値なしの罪の赦しの真の価値を知る者は、他人を罪に定めるのではなく罪を赦す余裕が与えられる。これが救いの価値でもあり救いの喜びである。</p>	<p>▲古い戒めとはユダヤ人のしきたり、律法である。キリストの永遠の贖いを受けた聖徒はもはや古い戒めの下にはいない。キリストの与える新しい戒めに従う者とされた。</p> <p>1)ヨハネ13:34 あなたがたに新しい戒めを与えましょう。あなたがたは互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、そのように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。 互いに愛し合う:互いに足を洗いあうように、救われた者は互いに愛し合うことができる。キリストが示された姿に倣うべきである。</p> <p>2)ヨハネ13:35 もしあなたがたの互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです。」 聖徒を単にキリストを信じる者とするならば、弟子とはキリストの言葉についてゆく者のことである。キリストが弟子に命じることは2種類あり、「信じなさい」と「守り行いなさい」である。互いに愛し合うことは守り行うことである。 キリストの言葉「互いに愛し合いなさい」に従うことは救いに直接関係あることではない。「互いに愛し合」わずとも救いを受けることは可能である。しかしキリストの言葉に従い互いに愛し合うならば、その答えと祝福は聖徒のそれとは異なる者となる。 ヨハネ8:31 そこでイエスは、その信じたユダヤ人たちに言われた。「もしあなたがたが、わたしのことばにとどまるなら、あなたがたはほんとうにわたしの弟子です。」</p>	<p>▲ヨハネの福音書の中で、キリストは続けてご自分を顕現されてきた。キリストを正しく知ることは、即ち聖徒の正体性の回復である。</p> <p>1)ヨハネ6:48 わたしはいのちのパンです。 2)ヨハネ8:12 イエスはまた彼らに語って言われた。「わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。」 3)ヨハネ10:11 わたしは、良い牧者です。良い牧者は羊のためにいのちを捨てます。 4)ヨハネ11:25 イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。 5)ヨハネ12:13 しゆろの木の枝を取って、出迎えのために出て行った。そして大声で叫んだ。「ホサナ。祝福あれ。主の御名によって来られる方に。イスラエルの王に。」 ただ単に祈るのでは宗教の祈りと何ら変わるところはない。御言葉(契約)をつかんで祈るべきである。それでこそ癒しが成される。 私たちが受けたキリストの救いは魂だけでなく肉体、生活も癒すちからを持つ。</p> <p>▲結論 ・御言葉集中:癒し集中 ・互いに愛し合う: 教会は天国の生活の訓練 ・不平不満、怒り、裁きはサタン働き。 感謝を回復すること。 感謝が出てくると、癒しの御業が現れる</p>	<p>序論:理由 1.サタン 1)3つの団体 New Age, Free Mason, ユダヤ人 2)新興宗教 (1)学校 (2)人材 (3)237か国 3)教会 99%肉体的 With, Immanuel, Oneness</p> <p>本論 1.福音サミット 1)聖書 2)CVDIP 2.霊的訓練 1)指導者 2)祈り 3)Rt 3.重職者、牧師、宣教師 1)3つのサミット 2)3つの弟子</p>

区域地教会(2019年2月17日-2019年2月23日)

【賛美】「イエスわが王よ」

1)イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ

私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ

2)イエスわが王よここに來られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ

われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス來られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖靈によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラのもとに苦しみを受け、十字架に

つけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父

なる神の右に座したまえり、かしこより來たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖

靈を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「あなたがたも互いに愛し合いなさい(ヨハネ 13:34-35)」

【讚美】 411 主われを愛す

【祈り】

①教会の祈りの課題

・元旦メッセージ(第1、2、3 RUTC 実現「古い枠を壊すべき」(Ⅱコリ 5:17)・「新しい枠を整えるべき」(使 9:15)・「靈的に戦う教会(兵士・軍隊)」(エペ 6:10-20)

・3 今日(御言葉、祈り、伝道)、3 弟子(秘密決死隊、レムナントミニストリー、Holy Mason)、3 サミット(靈的サミット、技能サミット、文化サミット)の契約を掴み成就を味わう。

・御国イザヤ牧師に聖靈充滿と5つの力が与えられるように。

②区域地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。

③区域地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム】

【祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあげさせたまえ。御国をきたらせたまえ

みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。

我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。

我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国とちからと榮えとは限りなく汝のものなればなり。アーメン。

福音宣教教会 10の祈り題	<p>(1)日本1%福音化(使18:9-10・ローマ16:20) (2)第2の宗教改革(マタ16:16、Iペテ2:9) (3)日本8,000教会(使17:1-3) (4)200地教会(創41:36-38) (5)1,000大学(福音の人材、福音エリート/使19:9-10) (6)伝道(重職者)運動(3弟子/ローマ16章) (7)レムナント運動(イザ6:13 / 3サミット) (8)癒しの運動(使徒19:8-20) (9)日本神学校、東日本神学校と教役者—Ⅱ列6:8-23 (10)世界宣教(マタ24:14、使1:8)</p>
伝道対象者	
お知らせ	<ol style="list-style-type: none"> 3月27-29日 日本レムナント大会 2/19(火) 世界宣教大会(韓国 ソウル) 日本神新学校、東日本神学校入学のために 2月25-27日 日本大学修練会(東京) 3月11-13日 仙台教会伝道キャンプ 3月21-23日 浜松教会伝道キャンプ 中高大学生のOMC奨学金申請
<p style="text-align: center;">福音宣教教会 主管牧師：御国イザヤ 名古屋市中区栄5丁目23-8 / tel:052-238-6003 主日(日曜)1部礼拝7:00 / 2部礼拝10:00 / 3部礼拝12:00</p>	